

# すがわら進 News

川崎市議員

小さな声を大きな力に

すがわら進ニュース 第154号

発行者：公明党川崎市議団  
 発行人：菅原進  
 住所：川崎市多摩区登戸3095  
 電話：044-933-2043  
 印刷所：光明印刷  
 (幸区塚越4-345-105)



ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。  
 それが「すがわら進」の夢です。

「すがわら進」議員は、平成27年第4回定例会(9月10日)の代表質問で4項目を担当。決算委員会の総括質疑(10月6日)では、《休日と夜間のMRI検査》の早期実現を担当しました。

特に、代表質問の担当項目では、四月の市議選で公約した「夢がススム」の実現へ、川崎の未来の繁栄に欠かせない《水素》に関する具体的な構築を求めました。



## 代表質問での担当項目より

### 1 水素発電所の建設早期実現をめざせ!

世界初の9万KW級の商用水素発電所を臨海部に2015年に建設する予定が大幅に遅れており、「すがわら進」議員は早期実現へ全力で取り組むよう強く要請しました。

市長は実現に向け水素サプライチェーンの構築を積極的に取り組んでいくと答弁。

また、総合企画局長からは、2020年頃に自家発電用水素発電の本格的な導入開始をめざす、との答弁がありました。

### 2 水素で日本をリードするプロジェクトの推進を!

「すがわら進」議員は地域で発生する使用済みプラスチックから、水素を作り地域内で利活用する「水素の地域循環型・地産地消モデル」の構築を質しました。担当局長は、川崎水素戦略に基づく低炭素で環境負荷の少ない水素社会の一日も早い実現をめざす、と明言しました。

### 3 水素ステーションを年内にも臨海部に設置を!

「すがわら進」議員は水素社会の実現には、水素ステーションの整備が不可欠であると早急な設置を求めました。

環境局長からは、移動式の水素ステーションを臨海部導入すると答弁がありました。

## 決算委員会の総括質疑より

### 365日24時間MRI検査の早急な実施を!

「すがわら進」議員は川崎公立病院は147万市民の医療と健康に大きな役割を果たしているにも関わらず井田病院と川崎病院は休日と夜間のMRI検査を行っていない状況を指摘。

特に、川崎病院は平成18年から、3次救急の指定を受けている重要な基幹病院であり、早急な検査の実施を求めました。

病院事業管理者は、MRI検査の体制を専門医師も含め早急に整備し、実施すると約束しました。

## 地域実績

### 長尾小学校に防犯カメラが新設されました!

長尾小学校は山の上であり、防犯の目が届きにくく防犯カメラの設置を求める要望が長峰直美さんからありました。早速、「すがわら進」議員は市の教育委員会と連携し今回、防犯カメラが3台新設されました。

「不審者情報がとても多く不安でしたが、これで安心です」と長峰直美さんはじめ保護者、地元住民の皆さんに大変喜んでいただきました。

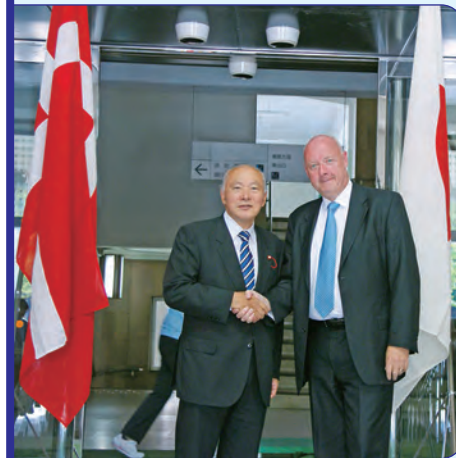
3台設置された長尾小学校の防犯カメラ



## 「すがわら進」議員の活動



▲8月6日 夏休みこどもも議場見学会



▲10月19日 川崎市役所玄関前にて(デンマーク大使を迎えて)



▲8月27日 中国大使館関係者の皆さんの藤子・F・不二雄ミュージアム訪問に同行



▲10月3日 「市民100万本植樹事業 黒川海道緑地植樹祭」に参加



▲10月1日 「韓日友好の夕べ」のレセプションに出席する



▼10月17日 多摩区民祭に福田市長と共に出席

## 市議会議員 すがわら進 暮らしの110番

市民相談  
お気軽に!

控入室 電話：044-200-3361  
 自宅 電話：044-933-2043  
 FAX：044-933-1950

すがわら進のホームページをぜひご利用ください!  
 URL <http://www.susumu-news.com>  
 E-mail [susumusumu@muf.biglobe.ne.jp](mailto:susumusumu@muf.biglobe.ne.jp)

すがわら進の  
プロフィール

- 昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
- 川崎市議会議員に5期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部副代表、川崎市議会副議長、多摩第2支部長
- 中央大学学生会幹事・学校法人中央大学評議員 ●海城学園海原会常任幹事